

# 【完了】 アンサンブル気候予測データベースを用いた排水リスクの検討について

## 地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベースを用いた農地排水リスクの評価・検討

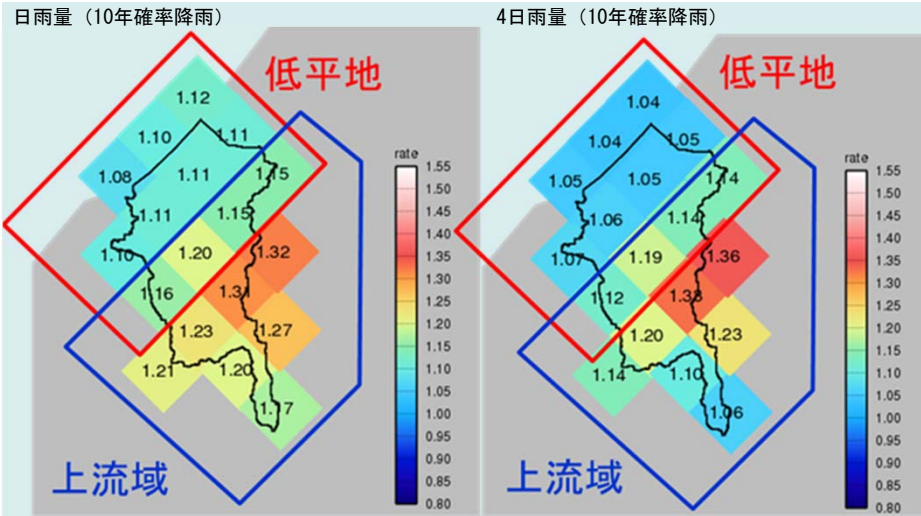
### 調査の背景

- ・「地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース」によって、発生頻度の低い大雨等の評価が可能となった。
- ・これらの最新の気候変動予測結果を踏まえ、気候変動に伴う降雨パターン及び気象条件の変化が、低平な農業地域の排水事業地区に及ぼす排水のリスクを評価するとともに、農業生産基盤分野での活用にあたっての留意事項等を整理した。

### 調査成果の内容

#### 農業生産基盤分野での地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベースの活用にあたっての留意事項等を整理

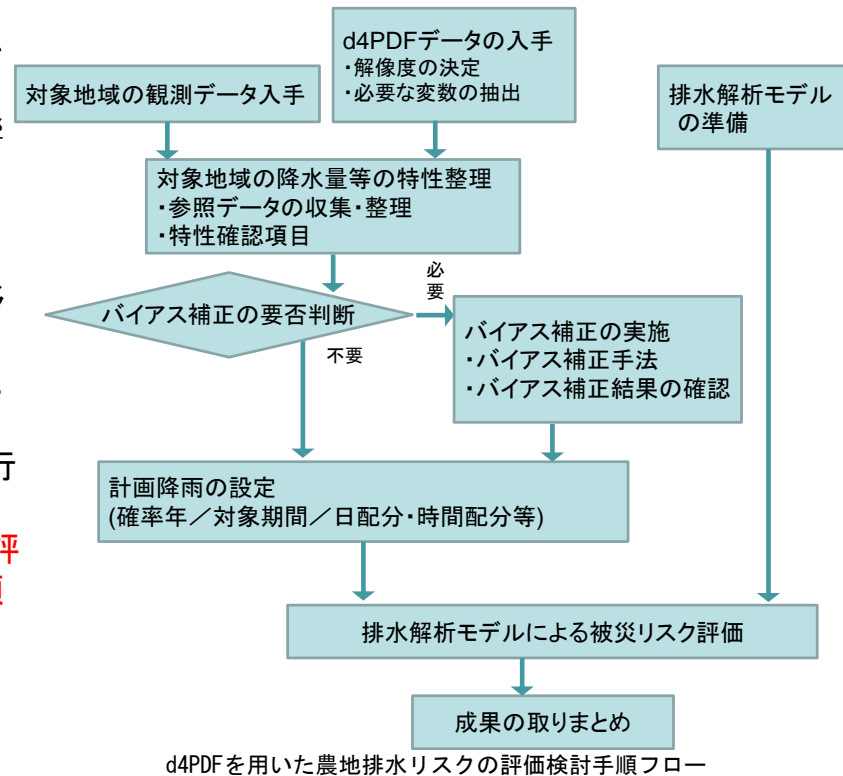
○地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース（以下、「d4PDF」）によって、発生頻度の低い大雨等の評価が可能となり、他省庁においてもその活用の検討がなされている。これらの最新の気候変動予測結果を踏まえ、気候変動に伴う降雨パターン及び気象条件の変化が、低平な農業地域の排水事業地区に及ぼす排水のリスク評価を行った。



4度上昇実験の過去実験に対する降雨量変化倍率（1メッシュ：5km四方）※

d4PDFの活用にあたっての留意事項を整理

○ d4PDFを用いた気候変動の影響評価事例、気候モデルを用いた農業生産分野での影響評価事例等についても整理・検討を行い、農地排水リスクの評価検討手順フロー等の留意事項を整理した。



### 活用方法

※ケーススタディ地区において、4度上昇実験の10年確率雨量の過去実験に対する変化倍率が高くなることが確認された。

- ・短期的並びに中長期的な気候変動適応策の検討において技術資料として活用
- ・地方自治体等を含む農業農村事業関係者と共有を図ることにより各主体による検討等の取組を後押し

活用をオススメするユーザー  
国・都道府県・市町村の農業農村整備事業担当者、土地改良区